

特集

# 農村生活体験事業 実習生が来町しました

～ようこそ！自然の恵み野わっさむ町へ～

## 農業生活体験事業

### 実習生の紹介

農村生活体験事業は、道内外の女性に和寒町の農業や農村の魅力を感じてもらうことを目的に、毎年10月末までの約5か月間、農村体験研修施設「ふれ愛の里」で一人暮らしを行います。今年度は、3名の実習生が来町していますので、ご紹介します。



氏名：坂元なおみ  
出身地：石川県  
趣味：映画鑑賞、  
買い物、旅行  
(敬称略)



氏名：青木千恵  
出身地：栃木県  
趣味：ゴルフ観戦



氏名：森 美香  
出身地：東京都  
趣味：旅行、  
トレッキング

### 実習生のみなさんへ 次のことを伺いました。

Q1 和寒町に来てみて感じたことや印象などはどうですか。

坂元 空気がキレイですね。畑の面積の大きさにびっくりしました。

青木 のどかで良い町だと感じました。まだ一部しか知らないのですが、これから農業体験を通じて色々知りたいと思います。

森 北海道全域で言えることかもしれませんが、自然がいっぱいあって素晴らしいです。

Q2 農業体験をしたいと思ったきっかけはなんですか。

坂元 野菜が好きなので作る過程を知りたいと思い応募しました。

青木 以前から興味がありましたが、きっかけは特に覚えていません。

森 自然に囲まれた中で、自然に触れながら生活してみたいと思ったからです。

Q3 農業体験で楽しみにしていることはなんですか。

坂元 野菜を採る(収穫)が楽しみです。

青木 作物の成長過程を見ることです。

森 野菜ができるまでの過程、また実際に収穫することです。

Q4 農業体験で不安なことはありませんか。

坂元 体力がもつかが心配です。以外と体力がいることにびっくりしました。農業をしている人が元気なことがわかりました。

青木 農業の経験がないので、体力的についていけるか不安です。

森 普段の生活とは違うので、筋肉痛になるだろうと・・・。体力的についていけるか少し心配です。

Q5 農業体験のみならず、北海道でやってみたいことはありますか。

坂元 観光地が多いですよ。いろいろな所に行ってみたいです。

青木 冬の北海道がどんな感じなのか体験してみたいです。

森 礼文島、利尻島に行つて、山歩き、登山をしたいと思っています。

Q6 この農業体験を通じてどのようなことを学びたいですか。

坂元 野菜を作る過程や収穫方法などを学びたいです。

青木 物を作る喜びを学びたいと思います。

森 少しでも土いじり、野菜作りの楽しみ、素晴らしいさを知つて、将来家庭菜園のような小さな場所でも何か育てられたら・・・と思っています。



Q7 最後に、わっさむ町民のみなさんへのメッセージをどうぞ！

坂元 わからない事ばかり、質問することばかりなので、その時はいろいろ教えてください。5か月間という短い期間ですが、みなさんと仲良くなりたいです。気軽に声をかけてください。これからよろしく願います。

青木 ご迷惑をかけることもあると思いますが、どうぞよろしく願います。

森 こちらは正反対の環境で育ってきました。農作業の経験もまるつきりないので、不安もありますが、温かい和寒の方々と色々交流を持ちながら、自然に囲まれた生活を満喫したいと思っています。どうぞよろしく願います。

## 子どもたちが農業体験～農業の必要性を学ぶ～

5月23日（金）、中原浩一さんの水田において学校法人旭川報恩学園みどり幼稚園（旭川市・年長児29名）による田植えが行われました。

この農業体験は昨年発足した和寒町グリーンツーリズムネットワーク協議会（以下「協議会」）（代表 中原浩一氏）で受け入れを行っており、農業をあまり知らない子どもたちに農業体験を通じて食の大切さを学んでもらおうと食育教育の一環としてはじめたものです。また、農業体験が農業の新しいビジネスツールとして構築できるよう、道内外の幼児から高校生までを積極的に受け入れ、地元農業の活性化を図ろうと進められています。

協議会では、現在受け入れ農家戸数が約50件を超え、年々会員数が増加しているとのことであり、今後も継続して受け入れ、農業の必要性や食の大切さを伝えていきたいとのことでした。

農業体験をした子どもたちは、水田に入るのをためらいながらも、丁寧に苗を植え、「たけのこぼし」と名づけられたお米の収穫を楽しみにしているようでした。



### 自治基本条例策定検討委員を募集します

町では、町民協働のまちづくりを進める住民参加のルールや行政運営等の基本的事項を定める「自治基本条例」の策定をめざしています。

これからのまちづくりを町民の皆さんと一緒にやっていくためには、どのようなルールや仕組みが必要なのか、自治基本条例にどのような内容を盛り込むべきかなど調査・検討を進めるため「自治基本条例策定検討委員会」を設立します。

委員の定数は10名で、そのうち2名を公募により募集いたします。

**応募資格** 町内在住の20歳以上のかた

**応募締切** 平成20年7月18日（金）

**応募方法** 「応募申込書」を総務課まちづくり推進係で受け取り、必要事項を記載のうえ提出願います。また、申込書は和寒町ホームページからもダウンロードできます。なお、応募者多数の場合は、希望に添えない場合もありますので、その際はご了承ください。

詳しくは総務課  
まちづくり推進係  
TEL32-2421まで